

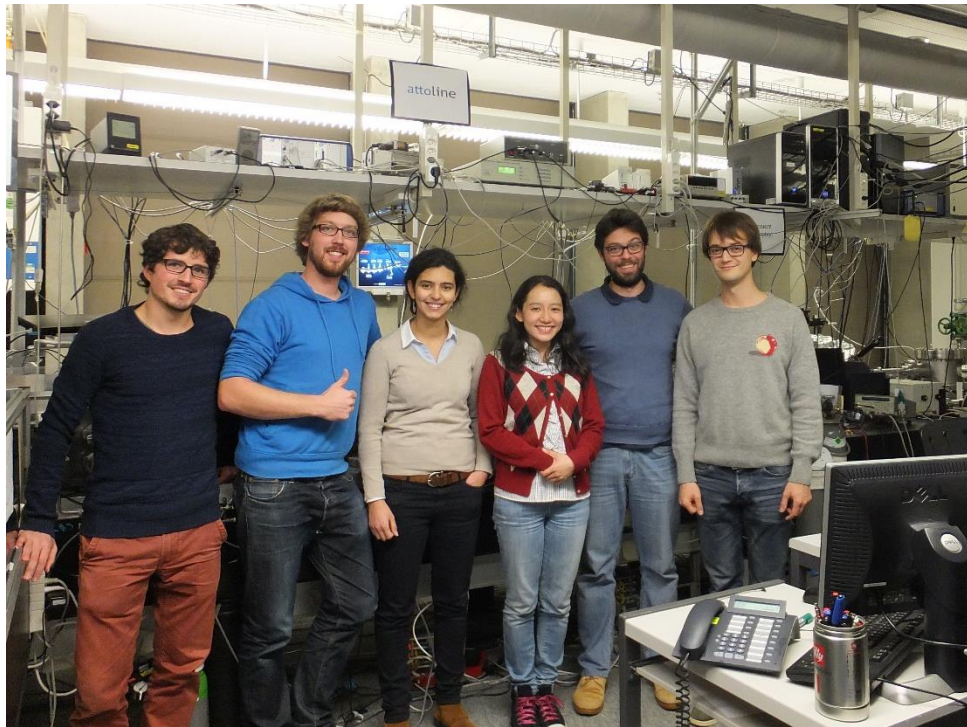
ETH Zürich での滞在を終えて

化学専攻 博士課程 2年 山田佳奈

2015年10/1から11/30にかけての2か月間、スイスにあるスイス連邦工科大学チューリッヒ校(ETH Zürich)に滞在し、Ursula Keller教授のもとで研究を行った。研究室においてはMatteo Lucchini博士のチームで研究に参加させていただき、希ガスおよび固体試料へ赤外光照射後の試料の電子状態変化をアト秒分解能で追跡することを目的に、過渡吸収分光を行った。

研究内容は、筆者の博士課程における研究内容と比較的近いものであったが、固体を対象とした測定には馴染みが薄かったため、大変勉強になった。また、研究に用いた光源の発生手法や信号の検出方法について学ぶところが多く、筆者が博士課程において今後新たに行おうと計画している研究に対しても、とても参考になった。研究を進めるにあたって日々活発な議論がなされていたことも印象的であり、見習わなければならないと感じた。研究室のメンバーはとても友好的で、研究以外の面でも非常に充実した2か月間を過ごせた。

今回のETH Zürichにおける滞在は、今後研究を行っていくにあたり、筆者にとってとても貴重な経験となった。このような機会を与えてくださったALPS関係者の皆様、ご紹介いただいた指導教官の山内薫教授、受け入れていただいたKeller先生と、お世話になった研究室のメンバーに感謝したい。



研究チームのメンバーとの集合写真。実験室にて撮影。